

2019年4月23日

選手村跡地に誕生する新しい街「HARUMI FLAG」の マンション販売センターに 未来を体験できる空間「VIRTUAL STAGE MIERVA」を導入



空間演出ソリューション「VIRTUAL STAGE MIERVA」イメージ
(左:ドームタイプ、右:眺望体感タイプ)

パナソニック株式会社(以下「パナソニック」)は、選手村跡地に誕生する新しい街「HARUMI FLAG(ハルミ フラッグ)」(※1)のマンション販売センター「HARUMI FLAG パビリオン」(※2)に、新たな空間演出ソリューション「VIRTUAL STAGE MIERVA(バーチャル ステージ ミエルバ)」を初導入します。

本空間演出ソリューションは、ディスプレイの継ぎ目を感じさせない湾曲した立体スクリーンに3Dデータや動画データなどをプロジェクション投影することで、広視野で没入感のある体験が可能な新感覚VRシステムです。これまで広視野角の投影型VRを実現するには、視野角をカバーする大型なスクリーンに投影する必要があり、広いスペースでしか実現することができませんでした。

今回導入する空間演出は、ドーム型・眺望体感型の2タイプ。ドームタイプは、イベントや展示に最低限必要な天井高に収まる高さ2.6 mのスクリーンと、2台の高輝度プロジェクターを使用し、人間の視野角に近い上下、左右ともに最大約180度の広視野角VR投影が実現できます。また、視点(立ち位置、高さ)を計算し、実物大である1/1サイズのスケールに投影することでVRの没入感を高めます。眺望体感タイプは、従来のモデルルームで使用される引き伸ばした眺望写真やCG合成写真などの固定の静止画像に代えて、4台の高輝度プロジェクターと超短焦点レンズを使用し、朝～夕方～夜と移り往くレインボーブリッジを臨む風景を投影。臨場感を一層引き出すため、当社の照明機器とも連動させ、動的な映像で演出します。さらに、3Dデータのリアルタイムレンダリング技術により、各住戸からの眺望シミュレーションを桌上ディスプレイで実現するなどの機能拡張も可能です。

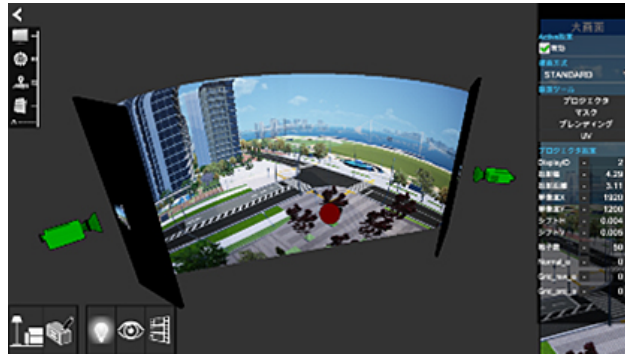
本販売センターでは、まだ完成していない「HARUMI FLAG」の街並みや、豊かな緑が植樹された中庭、マンション内の共用スペースなど各種3Dデータ(※3)をプロジェクション投影することで、従来のゴーグル越しのVRでは一人でしか体験できなかった世界観を、ファミリーやカップルなど複数人同時に体験することができます。

パナソニックは、今後、販売センターに来場されたお客様の高揚感と満足度の向上に繋げるため「VIRTUAL STAGE MIERVA」をさらに進化させるとともに、都市開発をはじめ、オフィス・店舗といった施設空間の価値向上に展開していきます。

※1 晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業により誕生した都市開発プロジェクトで、特定建築者11社(三井不動産レジデンシャル株式会社、三菱地所レジデンス株式会社、野村不動産株式会社、住友不動産株式会社、住友商事株式会社、東急不動産株式会社、東京建物株式会社、NTT都市開発株式会社、日鉄興和不動産株式会社、大和ハウス工業株式会社、三井不動産株式会社)による開発区域のタウンネームとして2018年10月31日に正式名称が「HARUMI FLAG」に決定しました。

※2 2019年4月27日(土)オープン 所在地:東京都中央区晴海2丁目-2-55

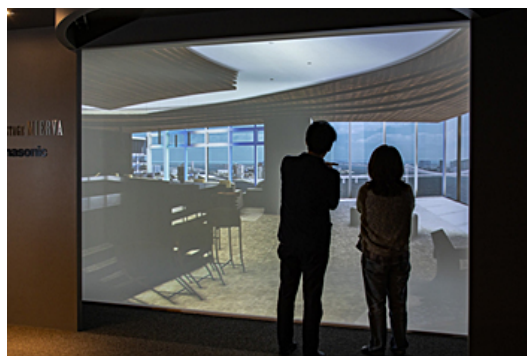
※3 建築設計用BIM(Building Information Modeling)との連携が可能



「VIRTUAL STAGE MIERVA」シミュレーション画面



「VIRTUAL STAGE MIERVA」眺望体感タイプ



「VIRTUAL STAGE MIERVA」ドームタイプ

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。
商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。